

# 令和5年度事業報告

## 1 概況

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが「5類」へ移行したことから、イベントや地域での活動が再開されるとともに、景気も緩やかな回復傾向にあります。物価高騰、少子高齢化、気候変動、デジタル技術の浸透やインボイス制度への対応などの社会状況に直面してきています。また人生100年時代を見据え、高齢者の労働環境は働く機会の多様化が進み、65歳までの雇用確保義務、70歳までの就業機会確保は努力義務となり、シルバー人材センターは、自主・自立、共働・共助の理念を持って、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っています。

令和5年度は、第6次中期計画の2年度、就業拡大、会員増強、地域貢献活動、安全就業、経費削減に取り組み、イベントの開催、他団体への視察、地域班集会の開催による地域コミュニケーションの復活、インボイス制度への対応、そして来年度に向けたデジタル化の推進などを行ってきました。

会員数の増強については、出張入会説明会、オンラインでの入会説明会申込の試行、「いきいきフェア2023」や女性委員会によるシルバーのための「健康講座（漫才・歌謡）」の開催、市のシニア元気フェスタ（敬老会）4年ぶりの敬老事業、小金井なかよし市民まつりへの手工芸品販売の出店、さらに「いきいき小金井」の全戸配布を行いました。令和4年度末1,044名に対し、入会者115名、退会者158名となり令和5年度末1,001名、前年度比△43名（△4.1%）の減となりました。

契約金額（派遣を除く）については、令和5年度事業実施計画目標値4億6,400万円には及びませんでした。令和5年度は約4億5,283万円、前年度比約855万円（1.9%）の増となり、公共部門では約2億5,086万円、前年度比約901万円（3.7%）増、民間部門では約2億196万円、前年度比約△46万円（△0.2%）減となり、公共部門増・民間部門減となりました。

地域貢献活動については、新型コロナウイルス感染症から地域コミュニティへと地域班集会の再開、清掃ボランティア活動（9地域）、シルバークリーン大作戦の実施、職班のボランティア活動（4職班）そして「歌でふれあい隊」（3回）を実施し、小金井市との協定（H31.2.6）により、「高齢者等見守り活動」に取り組んでいます。

安全就業については、令和5年度安全管理委員会体制の再編で安全パトロール巡回先の見直しと自転車安全教室では安全就業用品の助成により参加者増加、事故防止措置、会員の健康管理、安全教育の推進、安全意識の普及・啓発に努めてまいりましたが、傷害事故11件、賠償事故8件、保険外4件がありました。デジタル化の推進では、ホームページは常に分かりやすい情報を発信し、業務の効率化と経営の安定を図るうえで、避けては通れない課題と受け止め、「Smile to Smile」の運用を始めました。

シルバー人材センターの環境に大きな変化がありますが、「自主・自立」、「共働・共助」のもと、地域から頼られるシルバー人材センターを目指し、「いつまでも 笑顔と健康 地域の輪」で取り組んでいます。

## 2 事業実施状況（定款事項）

### (1) 就業機会の開拓及び提供

契約金額は約4億5,283万円、就業率は年間92.8%となりました。

ア 受託能力の増強及び多くの高齢者に就業機会を提供するため、入会勧誘を積極的に行い、年間入会者数は115名となりましたが、退会者数は158名となりました。

イ 就業拡大のため、リーフレットをイベント等で配布し、PRを行いました。

ウ 毎月「事務局からのお知らせ」を発行し、就業情報の提供に努めました。

### (2) 労働者派遣事業

シルバー人材センター等労働者派遣事業（シルバー派遣事業）について、事業件数15件、契約金額約362万円、就業実人員18名でした。

### (3) 研修

ア 新規就業会員を対象とした「新しく就業する会員の研修会」を実施し、1月15日（月）萌え木ホールで理念等具体的な「サービス業としての意識向上」研修を出席率75.6%実施

（ア）令和5年度新しく就業する会員の研修会（出席34名）

イ 地域班及び職班等の新任リーダーを対象に、リーダーとしての役割及び留意、注力すべき点等、具体的な課題を設定し、質疑応答、発表形式を開催。

（イ）新任地区委員リーダー研修（出席10名）

（イ）新任職班長リーダー研修（出席16名）

ウ 役員研修会「当センターの経理の実務や仕組み・インボイス制度について」（出席14名）

エ 他団体が主催する各種講習会、研修会に参加し、就業に必要な知識の習得や技能の向上を図りました。

### (4) 社会奉仕活動

ア パソコン・スマホ無料相談（班員8名）

イ 学習教室班による中学生・小学生を対象に夏期学習教室（班員9名）

ウ 手工芸班による市民向け講習会（班員3名）

エ ふすま班による桜町上水会館 障子の張替（班員11名）

オ 地域班による市内各地域での清掃ボランティア活動（延615名）

カ 歌でふれあい隊による施設利用者との交流（会員25名）

キ 使用済み切手を収集し、小金井ボランティア・市民活動センターへ提供

(5) 情報の収集、提供及び普及啓発

- ア 東京しごと財団及び第5地域シルバー人材センター主催の各種会合に参加し、高齢者の就業に関する情報の収集に努めました。
- イ 会報を年4回発行し会員、発注者、関係団体等に配布し、センターの活動状況を広報しました。
- ウ 「いきいき小金井」を発行し、市内全世帯及び関係機関に配布し、センター事業内容を周知しました。
- エ 「市報こがねい」にセンターの事業内容を掲載し、PRに努めました。
- オ 「高齢者福祉のしおり」、「小金井新聞」にセンターの案内や広告を掲載し入会促進、センター活動のPRを行いました。
- カ 第5ブロック主催の「安全就業推進のつどい」に参加し、各センターの安全対策等の情報交換を行いました。
- キ リーフレットをイベント等で配布しました。
- ク ホームページにセンター情報や就業情報を掲載し周知しました。
- ケ 国分寺市シルバー人材センターが入会員の増強、地域班等の組織づくり視察来所。活動、組織運営の情報交換を行いました。
- コ 多摩市シルバー人材センターが清掃グループ組織づくり視察来所。活動、組織運営の情報交換を行いました。
- サ 武蔵野市シルバー人材センターが植木班組織づくり視察来所。活動、組織運営の情報交換を行いました。
- シ 港区シルバー人材センターへ会員による研修会実施方法視察訪問。活動、組織運営の情報交換を行いました。
- ス 府中市シルバー人材センターへパソコン班の活発な活動方法視察訪問。活動、組織運営の情報交換を行いました。
- セ 狛江市シルバー人材センターへ入会増強対策等視察訪問。活動、組織運営の情報交換を行いました。

(6) 調査研究

- ア 月々の就業実態を分析・検討し事業運営の資料としました。
- イ 請負金額を見直すため、他センターの状況等を調査し、参考資料としました。

(7) 入会・就業相談

- ア 事務所窓口及び電話により、就業並びに受注に関する相談に応じました。
- イ 毎月第2木曜日に「入会説明会・入会手続き」を開催し、入会の促進に努めました。  
(出席・105名)
- ウ 10月21日(土)に東町会議室、令和6年2月17日(土)に前原町西之台

会館で「出張入会説明会」を開催し、入会の促進に努めました。

(出席・10月21名、2月10名)

エ「就業相談」を毎月2回開催しました。

#### (8) 安全

就業の安全を確保するため「安全対策基本計画」に基づき次のとおり安全就業に取り組みましたが、傷害11件、賠償8件、保険外4件の事故が発生しました。

ア 安全器具、保護具等の整備、点検

イ 安全標語の募集 63作品

ウ 安全就業強化月間の設定(7月、12月)

(ア) 各駐輪場に「安全就業強化月間のぼり」の掲揚

(イ) 配備した救急箱等の補充

(ウ) 安全標語ポスターの掲示

エ 就業現場安全巡回の実施(12月9箇所)

オ 自転車安全教室 (10月30日 22名参加)

カ 職班長会議および職班会議等での安全意識の啓発

キ 他団体主催の「安全就業推進大会」への参加

ク 安全管理委員会による会員の安全就業対策の検討

### 3 管理・運営事項

運営体制の充実・強化

(1) 会員の総意を決定する最高意思決定機関である総会を1回開催しました。

(2) 理事会を14回(定例12回、臨時2回)開催し、総会で決定された事業を執行しました。

(3) 三役部会長等連絡会議を12回開催し、事業運営の基本的事項の調整や部会の意思疎通を図りました。

(4) 専門部会を延13回、各種委員会を適宜開催し、事業の適正な運営と推進に努めました。

(5) 地域班担当理事・地域班長連絡会議にて令和5年度地域班集会各地域の報告、検討・課題・要望事項等意見交換を行いました。

(6) 入会式では新入会員としての心得及び地域班活動への理解を促し、基本理念の浸透及び会員意識の向上に努め、入会説明会、入会手続き及び入会式がわかりやすく理解できるよう、就業への流れの更なる改善やホームページを活用したデジタル化の推進をしました。

(7) 会員との連携を強化し、情報を素早く会員の皆様が受け取れる、インターネットを利用した情報提供サービス「Smile to Smile」の運用を開始しました。